

第59回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会プログラム

「互いに支え合いながら連携する支援のあり方を求めて～ウィズ・コロナ時代に～」

～オンライン開催～

第1日目：2021年9月16日（木）

第2日目：2021年9月17日（金）

I. 開会式 10:00～10:20

開会の辞：竹内一夫

（群馬大学健康支援総合センター副センター長）

部会長挨拶：石崎泰樹（群馬大学長）

オリエンテーション：姉崎英広（群馬大学学生支援課長）

II. 部会長講演 10:20～11:00

題目：「細胞も一人では生きられない
～高等動物細胞の生存調節～」

演者：石崎泰樹（群馬大学長）

座長：齋藤 繁（群馬大学健康支援総合センター長）

III. 特別講演 11:00～12:00

題目：「COVID-19と大学における自殺予防」

演者：影山隆之

（大分県立看護科学大学看護学部教授
/日本精神衛生学会理事長）

座長：渡邊慶一郎（東京大学相談支援研究開発センター教授）

<昼食> 12:00～13:00

IV. シンポジウム1 13:00～15:00

「ウィズ・コロナ時代のメンタルヘルスをどう支えあうか」

司会：布施泰子（茨城大学保健管理センター所長）

司会：丸谷俊之（東京工業大学保健管理センター准教授）

1) 看護職の立場から

発表者：山崎 恵（お茶の水女子大学保健管理センター看護師）

2) 教員の立場から

発表者：原野安土（群馬大学大学院理工学府准教授）

3) 発達障害支援の立場から

発表者：綱島三恵

（東京大学相談支援研究開発センター特任専門員）

4) 心理職の立場から

発表者：内山知子（群馬大学カウンセラー）

<休憩> 15:00～15:10

V. 教育講演1（ウィズ・コロナ時代だからこそ）15:10～15:50

題目：「CARE for CAREGIVER そのひとらしく、あなたらしく」

演者：田村祐樹（彦根市立病院緩和ケア科非常勤医）

座長：浅見隆康（群馬大学産業医）

VI. 教育講演2（ポスト・コロナ時代を見据えて）15:50～16:30

題目：「温泉で気分は最高！～群馬は温泉パラダイス～」

演者：小暮 淳（温泉ライター/NPO法人『湯治乃邑(くに)』代表理事）

座長：竹内一夫（群馬大学健康支援総合センター副センター長）

VII. シンポジウム2 10:30～12:30

「新型コロナウイルス感染症対策の今～多職種・多機関と支え合いながら進めるために」

司会：今関文夫（千葉大学総合安全衛生管理機構特任教授）

司会：森 正明（慶應義塾大学保健管理センター所長）

*今回は情報交換を中心に、下記の大学の皆様から新型コロナウイルス感染症対策のリアルタイム報告をしていただき、質疑討論とさせていただきます。

発表者：

生稲直美（千葉大学総合安全衛生管理機構看護師）

山田裕子（北里大学健康管理センターカウンセラー）

齋藤圭美（慶應義塾大学保健管理センター保健師）

小松崎恵子（東京医科歯科大学保健管理センター助教）

永井真由美（宇都宮大学保健管理センター所長）

脇本澄子（松本大学健康安全センター保健師）

<昼食> 12:30～13:40

ランチョンセミナー 12:40～13:40

題目：「予防接種まるわかり 大学編」

演者：中野貴司（川崎医科大学小児科学教授）

座長：柳元伸太郎（東京大学保健・健康推進本部教授）

提供：サノフィ株式会社

VIII. 保健・看護分科会 講演 13:40～16:00

司会：安宅勝弘（東京工業大学保健管理センター教授）

司会：萱場隆人（東海大学グローバルシシズンカレッジオ
フィス高輪ランチ健康推進室担当 保
健師/保健・看護分科会運営委員）

1) 月経困難症の原因と対応 プレコンセプションケアの必要性

演者：佐藤雄一（産科婦人科館出張佐藤病院院長）

2) 突き指や捻挫などに対して保健室でできる最新の処置

演者：平山隆久（真中記念クリニック副院長）

3) 両立支援の基本的考え方 治療と職業生活・学生生活の両立支援の視点から

演者：吉川悦子（日本赤十字看護大学看護学部准教授）

4) 相談対応の際の話し方・聴き方の基本

演者：齋藤憲司（東京工業大学保健管理センター教授）

XI. 閉会式 16:00～16:15

次年度代表世話人挨拶：安宅勝弘

（東京工業大学保健管理センター教授）

閉会の辞：竹内一夫

（群馬大学健康支援総合センター副センター長）